

言語文化学科／言語文化専攻 国語国文学コース／国語国文学専修

Masahiro MURATA 村田 正博 教授
古代の文学者たち、人麻呂や家持は詩歌にどんな志を託したか、我々はそれをいかに受け取るか、作品に目をこらして究明。
『萬葉の歌人とその表現』(清文堂出版 2003)
※2016年3月末日で定年退職

Tetsuya NIWA 丹羽 哲也 教授
日本語の意味と文法。普段使っている言葉がどのような組みでできており、それが過去から現代までいかに変化してきたかという研究。
『日本語の題目文』(和泉書院 2006)

Naoki KOBAYASHI 小林 直樹 教授
中世の説話伝承文学。とりわけ現在は、遁世僧の文学世界を中心に研究を進めている。
『中世説話集とその基盤』(和泉書院 2004)

Hiroaki KUBORI 久堀 裕朗 准教授
近世文学、おもに人形浄瑠璃史の研究。
共編著『上方文化講座 菅原伝授手習慣』(和泉書院 2009)
共編著『上方文化講座 義経千本桜』(和泉書院 2013)

Kumiko OKUNO 奥野 久美子 准教授
芥川龍之介など大正時代の小説。特に大衆演芸からの影響について。
『芥川作品の方法』(和泉書院 2009)

中国語中国文学コース／中国語中国文学専修

Tunio MATSUURA 松浦 恒雄 教授
19世紀末以降の中国近現代文学、および演劇。
共編『帝国主義と文学』(研文出版 2010)

Mari IWAMOTO 岩本 真理 教授
近世から現代にいたる中国の語彙・語法の変遷。唐話資料にみえる近世中国語の日本における定着と変容。
共訳『方言と中国文化』(周振鶴・游汝傑著 光生館 2015)

Shinmin CHO 張 新民 教授
現代中国文化論及び映画研究。
共著『中国映画のみかた』(大修館 2010)

Koji OIWAMOTO 大岩本 幸次 准教授
中国語音韻史、中国古代字書史。
『金代字書の研究』(東北大学出版会 2007)
『皇極經世解起數訣「聲音韻譜」校異記』(臨川書店 2011)

英米言語文化コース／英米言語文学専修

Masashi SUGII 杉井 正史 教授
シェイクスピアの喜劇『十二夜』の研究。
『お気に召すまゝ』とキャンプ趣味』(『人文研究』第62巻 2011)

Takanobu TANAKA 田中 孝信 教授
文学テクストと大衆メディアとの関係の研究。
『Dickens in Japan: Bicentenary Essays』(Osaka Kyoiku Toshō, 2013, coauthorship)

Ian RICHARDS イアン・リチャーズ 准教授
New Zealand literature.
『Do-It-Yourself History: A commentary on Maurice Shadbolt's 'Ben's Land'』(Lonley Arts Publishing, Aukland 2011)

Tetsuo KOGA 古賀 哲男 准教授
アメリカ文学（黒人詩研究）。
「大衆詩における独創とはなにか—『豹と鞭』におけるヒューズの編集意識—」(『黒人研究』82, pp.22-29 2013)

Junichi Toyota 豊田 純一 准教授
認知科学、歴史言語学、文化人類学。
『Sense of Emptiness: an interdisciplinary perspective』(Newcastle upon Tyne, Cambridge Scholars Publishing, 2012)

ドイツ語フランス語圏言語文化コース／ドイツ語フランス語圏言語文化専修 ドイツ語圏言語文化領域

Michio KAMITAKE 神竹 道士 教授
言語学、ドイツ語学、ドイツ語文法理論。特に16世紀以降の標準ドイツ語形成過程を研究。
教科書『ドイツ文法ベーシック3』(朝日出版社 2014)

Kinuko TAKAI 高井 絹子 准教授
19世紀末以降のドイツ語圏文学・文化。
「イングボルク・バッハマンとウィーン－観念的な地図の書き換えをめぐって－」(『人文研究』第65号 2014)

Ken-ichi HASEGAWA 長谷川 健一 講師
18・19世紀のドイツ語圏の文化・文学。
共著『ドナウ河一流域の文学と文化』(晃洋書房 2011)

フランス語圏言語文化領域

Hiroyuki TSUGAWA 津川 廣行 教授
ジード、ヴァレリー、ブルースト、クローデルなど20世紀フランスの小説や思想の研究。
『象徴主義以降ジード、ヴァレリー、ブルースト』(駿河台出版社 2006)

Yoshiyuki FUKUSHIMA 福島 祥行 教授
ひとはどういうに通じあうのかの研究。相互行為論、コミュニケーション論、外国語学習(協働学習、ポートフォリオ)、言語学、都市とアート、コミュニケーション創発、フランス語圏学。
「都市・境界・アート－コミュニケーション空間の相互行為の生成について」(『URP GCOE DOCUMENT』13、水曜社 2012)

Yuki SHIRATA 白田 由樹 准教授
19世紀末フランスの文化、メディアとセンター表象の研究。
『サラ・ベルナール－メディアと虚構のミューズ』(大阪公立大学共同出版会 2009)

言語応用コース／言語応用学専修

Shigeki SEKI 関 茂樹 教授
統語論、語用論。英語などの言語に見られる形式と意味との対応関係の機能的観点からの研究。
『英語指定文の構造と意味』(開拓社 2011)

Yukio IKARI 井狩 幸男 教授
母語獲得メカニズムの解明に向けた神経心理言語学研究。
『バイリンガリズム入門』(山本雅代編著 井狩幸男・田浦秀幸・難波和彦著 大修館書店 2014)

Masato YAMAZAKI 山崎 雅人 教授
言語構造論、言語情報論。言葉の仕組みをさまざまな面から論じる。

Kazuhiko TANAKA 田中 一彦 教授
英語における特殊な過去完了形の用法について、willはテンスかモダリティーか。
「過去完了形の使用を保証するオリエンテーション・タイム」(『言語情報学研究』vol.8 2012)

表現文化コース／表現文化専修

Masako MIKAMI 三上 雅子 教授
現代演劇研究。
「恋する男と行動する女－宝塚歌劇における男性像－」(『表現文化』大阪市立大学大学院文学研究科表現文化教室 No.6 2011)

Noriyuki NOZUE 野末 紀之 教授
19世紀末イギリスの文学および文化思想。
『ジョルジョーネ派』の批評言語』(ペイター『ルネサンス』の美学』論創社 2012)

Akihiro ODANAKA 小田中 章浩 教授
表象としての記憶喪失：文学、映画、演劇、マンガ、ゲームなどにおいて記憶喪失というモチーフがどのように扱われているか。
『現代演劇の地層』(ペリカン社 2010) 2011年度日本演劇学会「河竹賞」受賞

Yoko TAKASHIMA 高島 葉子 准教授
比較文学・比較文化・民間説話・民間伝承(特に妖精伝承)の比較文化的研究。

Takeshi EBINE 海老根 剛 准教授
表象文化論。
「『映画都市』としのマドリード アルモドバルの初期作品における都市表象をめぐって」、『表現文化』No.9 所収、2015年

アジア都市文化専攻

Shin NAKAGAWA 中川 真 教授
アーツマネジメント、サウンドスケープ、東南アジアの音楽・舞踊。
『これからのアートマネジメント－ソーシャルシェアへの道』(フィルムアート社 2011)
『アートの力』(和泉書房 2013)

Mitsuhiko NOZAKI 野崎 充彦 教授
15世紀朝鮮士大夫の民族アイデンティティーをめぐる言説。
共著『韓国の古典小説』(ペリカン社 2008)
訳書『洪吉童伝』(平凡社 東洋文庫 2010)

Hiroshi TAWADA 多和田 裕司 教授
アジア諸地域の文化人類学的研究、現代社会におけるイスラーム。
『マレー・イスラームの人類学』(ナカニシヤ出版 2005)
共編著『イスラーム社会における世俗化、世俗主義、政教関係』(上智大学アジア文化研究所 2013)

Satoshi MASUDA 増田 聰 准教授
ポピュラー音楽研究、都市大衆文化研究、文化所有論(著作権、作者論など)。
『聴衆をつくる－音楽批評の解体文法』(青土社 2006)

Keita AMANO 天野 景太 准教授
観光学(都市観光論・観光メディア論・ニューヨーリズム論)、社会学(都市・地域社会文化論)。
「携帯位置情報ゲームと観光経験: ゲーミング・ツーリズムの実態と展望」(『論叢国際関係学部篇』東京国際大学 2011)

—特任教授—

- 表現文化専修
Kimi EMURA 江村 公 特任講師
- ドイツ語フランス語圏言語文化専修
Simon OERTLE ジモン・エルトレ 特任講師
Laurent BAREILLE ロラン・バレイユ 特任講師
- 全学教職課程特任教員
Yasuhiro FUJIWARA 藤原 靖浩 特任講師
- アジア都市文化専攻
Shinya HASHIDUME 橋爪 紳也 特任教授
(大阪市立大学都市研究プラザ特任教授)



教員紹介

NAME 氏名 職階
研究内容 『主な著書』(発行所 発行年) 『論文』(『収録誌』発行所 発行年)

哲学歴史学科 / 哲学歴史学専修 哲学コース / 哲学専修

Tadashi MINO 美濃 正 教授 現代英米の心の哲学および形而上学。 共編著『デカルトをめぐる論戦』(京都大学学術出版会 2013) 『これが応用哲学だ!』(大隅書店 2012) ※2016年3月末日で定年退職
Takashi NAKAHARA 仲原 孝 教授 宗教学。宗教哲学。カント・ニーチェ・ハイデガーを中心とする近現代ドイツ哲学の研究。 『ハイデガーの根本洞察』(昭和堂 2008)
Tomohiro TAKANASHI 高梨 友宏 教授 ドイツ近現代美学、近代日本の芸術論。 『西洋近現代美学の一概論』(加國尚志・平尾昌弘編著『哲学の眺望』晃洋書房 2009)
Takashi TSUCHIYA 土屋 貴志 准教授 倫理学、医療倫理学、人権問題研究。 共著『医学研究』(丸善出版 2012)

日本史コース / 日本史学専修
Takashi TSUKADA 塚田 孝 教授 日本近世史。特に近世身分制の研究、大坂の都市社会史や和泉をフィールドとした地域史。 『大阪の非人—乞食・四天王寺・転びキリシタン』(ちくま新書 2013) 『都市社会史の視点と構想』(清文堂出版 2015)
Hiroshi NIKI 仁木 宏 教授 日本中世史。都市史、地域社会史。現在はとりわけ、室町～織田・豊臣期の、全国の港町、城下町に興味をもって研究している。 『京都の都市共同体と権力』(思文閣出版 2010) 共編著『信長の城下町』(高志書院 2008)
Ashita SAGA 佐賀 朝 教授 日本近現代史、特に近代大阪の都市社会史・地域社会史、近年は近世の遊廓社会史も。 『近代大阪の都市社会構造』(日本経済評論社 2007) 共編著『シリーズ遊廓社会1・2』(吉川弘文館 2013・14)

Naofumi KISHIMOTO 岸本 直文 准教授 日本考古学。古墳時代の研究。現在は、近畿と各地の古墳時代について、前方後円墳の形態分析を通じて、古墳時代における政治的な動向を探ることをめざしている。 編著『史跡で読む日本史2 古墳の時代』(吉川弘文館 2010)
Toru IWASHITA 磐下 徹 准教授 日本古代史(郡司制度の研究、古記録の註釈)。 『延暦十七年三月丙申詔試解』(続日本紀研究会編『続日本紀と古代社会』pp.25-46、2014)

世界史コース / 東洋史学専修
Toru INOUE 井上 徹 教授 中国の明清時代及び近代を中心とする社会史。特に中国の家族、宗教、民族、都市、交易の諸問題の探求。 『海域交流と政治権力対応』(汲古書院 2011) ※2015年度は大阪市立大学理事兼副学長
Shigeki HIRATA 平田 茂樹 教授 中国の近世史。科挙・官僚制を中心とする政治構造の歴史。 『宋代政治構造研究』(汲古書院 2012) 『宋代政治結構研究』(上海古籍出版社 2010)



Chikayoshi NOMURA 野村 親義 准教授 近現代インド史。 『Selling steel in the 1920s : TISCO in a period of transition』(The Indian Economic and Social History Review,Delhi,vol.48-1,pp.83-116,2011)
Masayuki UENO 上野 雅由樹 講師 西アジア・中東近代史、オスマン帝国史。 『For the Fatherland and the State' : Armenians Negotiate the Tanzimat Reforms』(International Journal of Middle East Studies vol.45 (1), pp.93-109,February,2013)
Daisuke SAEKI 佐伯 大輔 准教授 学習心理学：判断、意思決定、選択、推論。 『価値割引の心理学—動物行動から経済現象まで』(昭和堂 2011)

世界史コース / 西洋史学専修
Syunji OGURO 大黒 俊二 教授 中世・ルネサンス期のイタリアおよび地中海世界の社会史、経済史。 『声と文字』(岩波書店 2010) 『嘘と貪欲—西欧中世の商業・商人観』(名古屋大学出版会 2006)
Masafumi KITAMURA 北村 昌史 教授 近現代ヨーロッパ、特にドイツの社会史。 『ドイツ統一と第二帝国』(小山哲・上垣豊・山田史郎・杉本淑彦編著『大学で学ぶ西洋史「近現代」』ミネルヴァ書房 2011)
Hisatsugu KUSABU 草生 久嗣 准教授 ビザンツ史、ヨーロッパ中世史、宗教問題史、異端学。 『ビザンツの『神秘主義』と『異端』』(エクフラシス 第2号, 早稲田大学ヨーロッパ中世・ルネサンス研究所, pp.17-27 2012)
人間行動学科 / 人間行動学専修 社会学コース / 社会学専修
Yuzo SHINDO 進藤 雄三 教授 理論社会学・医療社会学・家族社会学を専攻。現在の主な研究テーマは現代社会理論・医療専門職論・近代家族論研究。 共著『社会学』(医学書院 2012)
Saeko ISHITA 石田 佐恵子 教授 メディア文化研究、映像社会学。 共編著『ポピュラー文化ミュージアム』(ミネルヴァ書房 2013) 共編著『ポスト韓流のメディア社会学』(ミネルヴァ書房 2007)
Noriko IJICHI 伊地知 紀子 教授 朝鮮地域研究、文化人類学。 『消されたマッコリ。—朝鮮・家釀酒文化を今に受け継ぐ』(社会評論社 2015) 『日本人が見た濟州人の生—生活世界の創造と実践』(済州大学校耽羅文化研究所 2013 韓国語) 共著『音話で学ぶ韓国語中級リーディング』(アルク 2011)
心理学コース / 心理学専修
Tomoko IKEGAMI 池上 知子 教授 社会心理学：対人認知・偏見とステレオタイプ、社会的アイデンティティと社会システムの関係。 『格差と序列の心理学—平等主義のパラドクス—』(ミネルヴァ書房 2012)
Hiroshi YAMA 山 祐嗣 教授 認知心理学：推論、思考の潜在性・顕在性、比較文化研究。 『思考・進化・文化—日本人の思考力』(ナカニシヤ出版 2003)
地理学コース / 地理学専修
Shigeaki OBA 大場 茂明 教授 都市政策とまちづくり、ドイツ地域研究。 『グローカル化時代におけるEU成長都市圏の地区更新戦略—ハンブルクを事例として—』(『日本都市学会年報』, 第40号、日本教育行政学会年報, pp.91-108, 2014)
Toshio MIZUUCHI 水内 俊雄 教授(兼任) 都市の社会問題・住宅問題の歴史的経緯や、脱ホームレス支援の現状や都市再生に関わる東アジアを含むNPOを軸にする政策研究、社会地理学的研究。 共著『モダン都市の系譜』(ナカニシヤ出版 2008)
Takashi YAMAZAKI 山崎 孝史 教授 グローバルな政治経済的変動とローカルな政治・社会運動に関する地理学的研究、沖縄研究。 『政治・空間・場所—「政治の地理学」にむけて[改訂版]』(ナカニシヤ出版 2013)
Ryoji SODA 祖田 亮次 准教授 人文地理学、人口移動、資源利用・管理、災害文化、東南アジア地域研究。 People on the move:rural-urban interactions in Sarawak. (Kyoto University Press and Trans Pacific Press, 2007)
Yoshinari KIMURA 木村 義成 准教授 地理情報システム、保健医療分野におけるGISの応用研究。 『Geodemographics profiling of influenza A and B virus infections in community neighborhoods in Japan』, (Yoshinari Kimura, et al, BMC Infectious Diseases, 11:36, 2011)